

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

| | | | | | |
|-------|-------------|---|-------|--------|---------------------|
| 一般会計 | | | | 事務事業分類 | A 一般事務事業 |
| 事務事業名 | 救急体制の拡充整備事業 | | | 事業番号 | 090-019 |
| 担当部署名 | 消防 | 局 | 総務・救急 | 部 | 人事・救急・救急ワークステーション 課 |

I. 基本情報

事業の位置付け

| | | | | | | | |
|---------------|-----------------|--------|--|---------------------|-------------------------------|---------|---------------------------------|
| 1 | 堺市基本計画 2025 | 施策との関連 | 有・無 | 戦略 | 2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～ | 施策 | (2) かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実 |
| | | 有 | 取組の方向性 | ①地域医療体制の充実 | | | |
| | 寄与するKPI | 有・無 | 指標名 | — | | | |
| | | 無 | 現状値 | — | 目標値 | — | |
| 堺市SDGs 未来都市計画 | 施策との関連 | 有・無 | ゴール | ゴール(3)すべての人に健康と福祉を | ターゲット | 3.8 | |
| | | 有 | 取組 | 健康寿命延伸に資するサービスの社会実装 | | | |
| | 寄与するKPI | 有・無 | 指標名 | — | | | |
| | | 無 | 現状値 | — | 目標値 | — | |
| 2 | 関連計画 | | | | | | |
| 3 | 事業開始年度 | | 平成 15 年度 | | 点検年度 | 令和 7 年度 | |
| 4 | 実施根拠 (根拠法令、条例等) | | 消防組織法・救急救命士法・救急安心センターおおさか運営費の分担に関する要綱・堺市消防局まちかど救急ステーション事業に関する要綱・大阪府堺地域メディカルコントロール協議会設置要綱など | | | | |

事業の概要

| | | | | | | | |
|----|----------------------------|--|---|--|--|-----|----|
| 5 | 事業の実施主体 (実施主体となる団体等) | | 本庁 | | | | |
| 6 | 事業の対象 (対象とする人、対象数) | | ①就業中救急救命士及び救急隊員 (261名) ②消防局管内においてAEDを設置している施設 堺市約1,900、高石市約80、大阪狭山市約80施設 (令和4年3月現在。一般財団法人日本救急医療財団調べ) ③救急要請を躊躇する市民 (約82万人 ※潜在的なものであるため、自身で救急要請可能と思われる15歳以上の人口を記載) | | | 対象数 | 単位 |
| | | | — | | | — | — |
| 7 | 事業の目的 (事業実施によりめざす状態) | | <ul style="list-style-type: none"> 救急隊の行う活動を検証することによって、質の向上を図るとともに検証結果に基づき必要な救急隊員の研修体制を確立する。 市民による除細動の実施率をあげる。 救急医療電話相談事業により、医学的な見地から適切な医療機関への受診行動をアドバイスして不要不急の救急要請や時間外診療を抑制するとともに、緊急性等があると判断した場合には救急車を出場させることで、医療資源利用の適正化を図る。 | | | | |
| 8 | 事業内容 (目的を達成するための手段) | | <ul style="list-style-type: none"> 毎月1回堺地域メディカルコントロール協議会検証会議を実施し、救急隊の活動について事後検証を実施する。 救急救命士の再教育事業として、救急ワークステーションや救命救急センターで必要な研修、病院実習を実施する。 高度化救急業務医師謝礼事業として、救急救命士が救急現場で救急救命処置 (特定行為) を実施する際、救急活動に精通した医師より具体的な指示を得る。 各地で開催される学術集会上に職員を派遣し、研修を実施させる。 まちかど救急ステーション事業として、消防局管内にAEDを設置している施設を「まちかどAED設置施設」として登録し、市ホームページでマップを公開すると共に119番通報時には必要に応じて付近のAED設置施設の情報を提供する。また、AED設置施設であることが視認しやすいようステッカー及びのぼりでの標示を行う。 「救急安心センターおおさか」事業として、大阪府内全市町村の共同事業として救急医療に関する相談窓口を設置し、24時間・年中無休体制で看護師が医師の支援体制のもと救急医療相談に電話対応する。 泉北高速鉄道車内広告による「救急安心センターおおさか」の広報事業を実施する。 | | | | |
| | ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載 | | | | | | |
| 9 | 主な支出先 (委託・補助金・負担金等) | | 大阪市 (救急安心センター) ・堺地域メディカルコントロール協議会参画医師、実習受け入れ医療機関等 | | | | |
| 10 | 公民連携・協働事業 | | まちかど救急ステーション事業 | | | | |

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

| | | | | | | | | |
|---------------|-------------------|--|-------|--------|--------|-------|------|--|
| 11 | 成果指標(目的の達成状況を測定) | 単位 | 実績 | | 目標 | 目標 | 点検年度 | |
| | 救急安心センターおおさか利用件数 | 人 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和7年度 | | |
| | | | 目標値 | — | — | — | — | |
| | | | 実績値 | 22,730 | 27,224 | — | — | |
| 達成率 | — | — | — | — | | | | |
| 当該指標を選定した理由 | | 救命率の向上を目的としていることから、目標値の設定には適さないため、実績値のみ記載。 | | | | | | |
| 目標値の設定根拠・算出方法 | | 救急安心センターが公表している確定件数が年 (1月1日から12月31日) のみのため、年毎の堺市・高石市内の件数を算出。令和3年以降は消防事務委託に伴い大阪狭山市の件数も計上。 | | | | | | |
| 12 | 活動指標(成果を上げるための手段) | 単位 | 実績 | | 目標 | | | |
| | まちかど救急ステーション登録施設数 | 件 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | | | |
| | | | 目標値 | 320 | 550 | 850 | | |
| | | | 実績値 | 449 | 731 | — | | |
| 達成率 | 140% | 133% | — | | | | | |
| 当該指標を選定した理由 | | まちかど救急ステーション登録施設数を増加させることにより、早期除細動実施率が上がり、救命率向上に寄与するため。 | | | | | | |
| 目標値の設定根拠・算出方法 | | 医師会・歯科医師会、駅、銀行等を中心に広報を実施し、より多くの施設 (100施設以上) の登録を目標とした。 | | | | | | |

令和4年度 事務事業評価シート（2）

| | | | |
|-------|-------------|------|---------|
| 事務事業名 | 救急体制の拡充整備事業 | 事業番号 | 090-019 |
|-------|-------------|------|---------|

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

| 項目 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | | 令和4年度 |
|--------------------|-------------------------|--------|---------|---------|---------|
| | 決算 | 決算 | 当初予算 | 決算 | 当初予算 |
| 事業費 (a) | 65,077 | 58,697 | 82,901 | 84,133 | 68,166 |
| 13 財源内訳 | 国支出金 | | | 4,283 | 3,168 |
| | 府支出金 | | | | |
| | 市債 | | | | |
| | その他 (全国救急隊員シンポジウム開催負担金) | | 0 | | |
| | 受益者負担金(使用料、手数料等) | | | | |
| 一般財源 | 65,077 | 58,697 | 82,901 | 79,850 | 64,998 |
| 14 人件費 (b) | 36,040 | 36,900 | 36,900 | 36,900 | 36,900 |
| 15 年間経費(c)=(a)+(b) | 101,117 | 95,597 | 119,801 | 121,033 | 105,066 |

事業費の内訳

(単位：千円)

| 項目 | 年度 | 事業費 | うち一般財源 | 項目 | 年度 | 事業費 | うち一般財源 | |
|----------|-----|-------|--------|-------|--------------|-------|--------|--------|
| | | | | | | | | 項目 |
| 16 事業費内訳 | 報償費 | R3 決算 | 3,115 | 3,115 | 使用料及び賃借料 | R3 決算 | 7,484 | 7,484 |
| | | R4 予算 | 3,466 | 3,466 | | R4 予算 | 7,484 | 7,484 |
| | 旅費 | R3 決算 | 707 | 707 | 負担金、補助金及び交付金 | R3 決算 | 65,680 | 65,680 |
| | | R4 予算 | 1,385 | 1,385 | | R4 予算 | 50,225 | 50,225 |
| | 需用費 | R3 決算 | 939 | 688 | | R3 決算 | | |
| | | R4 予算 | 895 | 895 | | R4 予算 | | |
| | 役務費 | R3 決算 | 3,377 | 1,613 | | R3 決算 | | |
| | | R4 予算 | 2,731 | 1,345 | | R4 予算 | | |
| | 委託料 | R3 決算 | 2,831 | 563 | | R3 決算 | | |
| | | R4 予算 | 1,980 | 198 | | R4 予算 | | |

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

| 区分 | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---|------|-------|-------|
| | | 令和2年度 | 令和3年度 |
| ① まちかど救急ステーション登録施設数 | 件 | 449 | 756 |
| ② 上記①にかかる年間経費 | 千円 | 1,000 | 1,000 |
| ③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円) | 円/単位 | 2,227 | 1,323 |
| 備考 (算出についての説明等) 「まちかどAED設置施設」を示すのほり、ステッカー等の消耗品費、印刷製本費及び人件費。 | | | |

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 ・まちかど救急ステーション事業実施前から消防局管内にAEDが多数設置されていることを把握していたものの、消防局から承諾を得ていないということもあり、119番通報時などに市民へ情報提供することはできていなかった。本事業に登録して頂くことにより、有事の貸出し協力で事前承諾を頂いていることとなり、消防局からも積極的に情報提供できるようになった。費用については、救命率向上のため公費でAEDを設置するとなれば1台約30万円を要するところを、民間で設置されているものを活用することで、標識物等の作成費用のみに抑えることができており、費用対効果を高めることができています。また、令和4年2月にはまちかど救急ステーション事業に登録されていた「まちかどAED」を活用し、心肺停止状態であった傷病者が救命された事例があった。

・さいとう・たかを氏とコラボレーションした「救急安心センターおおさか」のポスターが新聞報道に取り上げられた。本ポスターは印刷製本費のみを堺市が負担し、泉北高速鉄道に無料で掲示しているもので、費用対効果の高い広報であった。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 ・救急隊の行う活動の検証や研修体制を確立することにより救急活動の質を向上させたことで、適切な医療機関への迅速な救急搬送につながり、地域医療体制の充実や健康寿命延伸に寄与した。

・まちかど救急ステーション事業を推進し、市民による早期除細動の実施率向上を図ったことは、健康寿命延伸に寄与した。

・「救急安心センターおおさか」事業により救急要請を躊躇する市民に適切な救急車の利用を促したことは、健康寿命延伸に寄与した。